

2016年4月27日

PGF生命
〔 プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル 〕
生命保険株式会社

在宅勤務制度の正規導入について

PGF生命（プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社、代表取締役社長 兼 CEO 谷川 武士）は、2016年4月より在宅勤務制度を正規導入いたしました。

在宅勤務制度の目的は、社員のワーク・ライフ・バランスの推進、育児・介護の負担軽減、パンデミックや局地災害発生時の対応（事業継続性の確保）であり、原則、業務上の支障のない勤続満1年以上の全社員を対象に、週1回かつ月5回まで在宅勤務を可能とするものです。

本制度は、当社が重要な経営戦略の一つと位置付け推進している **Diversity & Inclusion (D&I)** を制度的に支えるしくみであり、今後も多様な社員が活躍できる職場環境を整備することで、お客さまの様々なニーズにお応えできるイノベーションをもたらす組織づくり・災害に強い企業を目指してまいります。

1. 正規導入の背景

2015年4月より実施したパイロット運用においては、80人の社員が在宅勤務制度を利用し、利用者は、①通勤による肉体疲労やストレスの軽減、②家族と過ごす時間の増加、③仕事の生産性の向上といった利点を挙げ、9割以上が制度推進について前向きであることが分かりました。

また、全社員向けのアンケートでも、8割以上の社員が在宅勤務について「推進すべき」「あった方がよい」と回答し、今般、実施環境の整備を完了したうえで正規導入を決定いたしました。

2. 今後の取り組み

育児や介護の負担軽減の観点等から、より柔軟な制度運用について検討を継続し、多様な働き方の実現について取り組んでまいります。

ダイバーシティ&インクルージョンのロゴについて

日本におけるプルデンシャル・グループ各社では、社員一人ひとりがダイバーシティ&インクルージョンの意識を高め、その責任を果たすためのシンボルマークとして、共通のダイバーシティ・ロゴを使用しています。

4色の糸が折り重なって、美しく丈夫な『毛鞠』を作り上げている様子から、「多様性を活かした強固な組織を、多様化推進を通じて実現する」という意味が、このロゴデザインに込められています。



Diversity & Inclusion